

Economic Indicators

発表日:2021年9月16日(木)

貿易統計(2021年8月)

～自動車輸出の急減速により、輸出の伸びが鈍化～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
副主任エコノミスト 大柴 千智 (TEL:03-5221-4525)

		貿易収支(億円)				輸出数量			輸入数量					
				輸出金額	輸入金額		アメリカ	EU	アジア		アメリカ	EU	アジア	
		原数値	季調値	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
20年	4月	▲ 9,369	▲ 10,629	▲ 21.9	▲ 7.0	▲ 21.3	▲ 36.9	▲ 27.6	▲ 11.7	1.6	4.1	▲ 0.1	6.1	
	5月	▲ 8,568	▲ 8,442	▲ 28.3	▲ 25.9	▲ 27.3	▲ 49.4	▲ 34.7	▲ 11.4	▲ 14.4	▲ 22.8	▲ 25.8	▲ 8.5	
	6月	▲ 2,909	▲ 5,464	▲ 26.2	▲ 14.1	▲ 27.0	▲ 46.9	▲ 33.1	▲ 17.7	▲ 0.5	▲ 12.6	▲ 6.1	0.4	
	7月	▲ 148	▲ 793	▲ 19.2	▲ 22.0	▲ 22.0	▲ 21.5	▲ 36.8	▲ 11.3	▲ 13.7	▲ 27.9	▲ 12.5	▲ 10.6	
	8月	2,280	2,969	▲ 14.8	▲ 20.4	▲ 14.9	▲ 20.0	▲ 27.5	▲ 7.3	▲ 11.2	▲ 22.2	▲ 15.1	▲ 7.2	
	9月	6,674	5,625	▲ 4.9	▲ 17.1	▲ 7.7	▲ 6.1	▲ 23.2	▲ 3.7	▲ 8.1	▲ 16.4	▲ 3.3	▲ 7.4	
	10月	8,582	5,806	▲ 0.2	▲ 13.1	▲ 1.7	0.7	▲ 10.9	2.8	▲ 5.4	▲ 21.4	▲ 8.3	▲ 2.5	
	11月	3,558	7,239	▲ 4.2	▲ 11.0	▲ 4.0	▲ 2.6	▲ 9.7	▲ 4.4	▲ 2.0	▲ 19.2	▲ 12.9	4.7	
	12月	7,447	7,501	2.0	▲ 11.5	▲ 0.1	▲ 3.3	▲ 18.3	5.1	▲ 1.9	▲ 22.7	▲ 0.9	2.0	
	21年	1月	▲ 3,272	5,889	6.4	▲ 9.5	5.4	▲ 8.7	▲ 26.1	18.4	▲ 4.1	▲ 10.5	▲ 10.8	▲ 2.9
		2月	2,117	131	▲ 4.5	11.9	▲ 4.4	▲ 16.4	▲ 23.8	▲ 0.2	21.9	▲ 7.9	1.6	43.8
		3月	6,578	3,060	16.1	5.8	12.6	3.9	▲ 6.9	20.4	3.8	▲ 0.7	9.1	8.5
4月		2,488	896	38.0	12.9	28.5	37.8	12.7	23.0	1.2	▲ 4.8	5.7	4.5	
5月		▲ 1,934	48	49.6	28.0	38.6	77.6	38.8	21.6	6.8	5.1	23.7	7.1	
6月		3,789	▲ 1,092	48.6	32.8	37.3	79.7	25.8	26.1	8.2	9.2	27.2	8.7	
7月		4,394	▲ 59	37.0	28.5	25.2	19.4	39.9	20.4	2.0	2.4	0.3	4.6	
8月		▲ 6,354	▲ 2,718	26.2	44.7	13.7	13.1	30.2	11.0	14.4	12.3	28.1	13.2	

(出所)財務省「貿易統計」、前年比(%)

○自動車輸出を中心に輸出が鈍化、貿易収支は赤字へ

財務省より発表された8月の貿易統計によると、貿易収支は▲6,354億円の赤字(コンセンサス:▲601億円、レンジ:▲5,310億円～+3,984億円)となり、コンセンサスを大きく下回った。輸出金額は前年比+26.2%(コンセンサス:+33.8%、レンジ:+22.0%～+43.5%)、輸入金額は同+44.7%(コンセンサス:+40.0%、レンジ:+34.8%～+46.5%)となった。原油価格上昇やワクチン確保等により輸入が急伸した一方で、輸出が急減速したことにより貿易収支は赤字に転じた。輸出については、自動車輸出が、部品不足による減産の影響を受け、7月の前年比+43.5%から8月は同+4.0%へと急減速したことで下押しされた。季節調整値では、輸出金額が前月比+0.8%、輸入金額が同+4.6%となり、貿易収支は▲2,718億円の赤字となった。

○自動車輸出の減速が目立つ

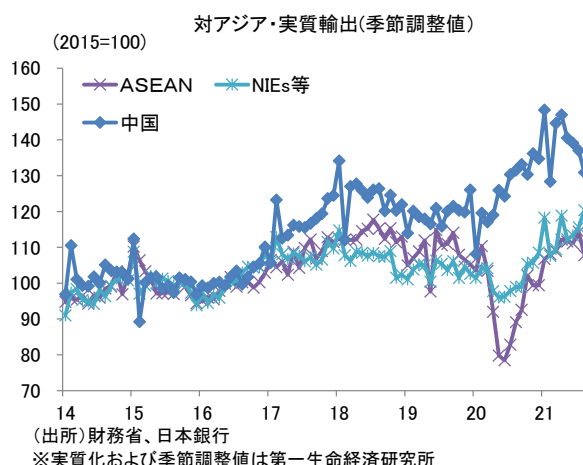
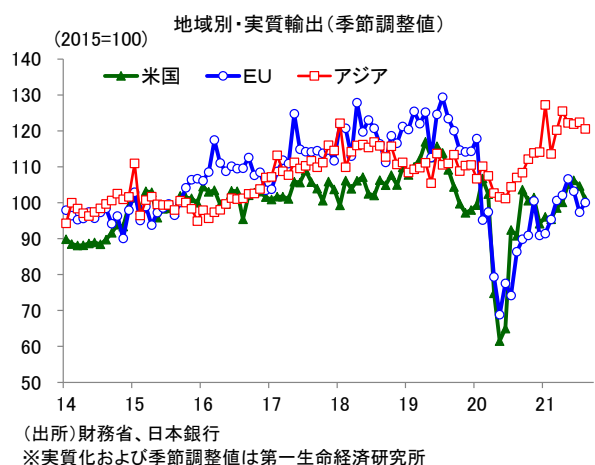
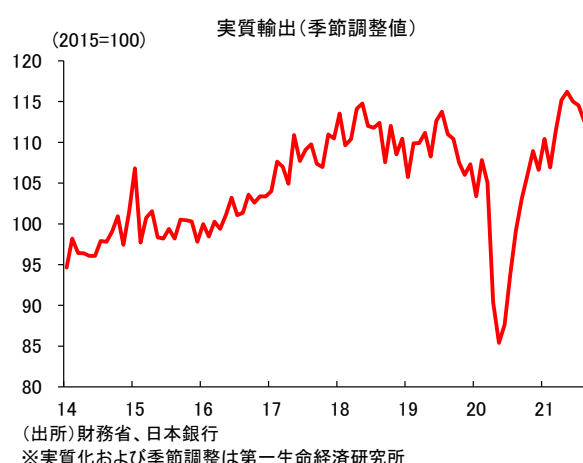
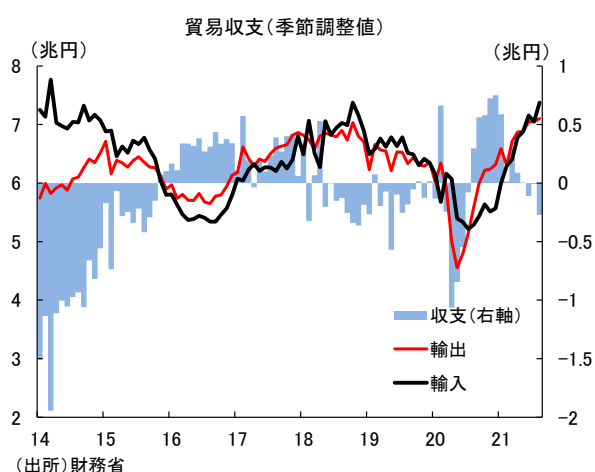
為替などの価格変動の影響を除いた8月の実質輸出は、前月比▲1.7%(7月:同▲0.4%、実質化・季節調整は第一生命経済研究所試算)と3カ月連続の低下となった。部品不足による減産の影響により自動車輸出が低迷したことで、輸送用機器が同▲15.8%と急減速した。実質輸出の7-8月平均は4-6月期

から▲1.6%の減少となっており、輸送用機器の減少が目立つ（寄与度▲0.92%pt）。

前月比について国・地域別にみると、米国向けが▲3.6%、EU向けが同+2.7%、アジア向けが同▲1.5%、中国向けが▲4.5%となった。米国向けは2カ月連続の低下となったが、自動車減産による輸送用機器の減少（前月比▲17.9%）によるところが大きく、一般機械（同+3.5%）等の資本財を中心に堅調な推移といえる。EU向けについても、一般機械（同+12.8%）や電気機器（同+1.4%）等が押し上げた。一方、これまで輸出を牽引してきた中国向けは4カ月連続の低下となっており、減速感が強まっている。足元で中国景気の減速を示す指標が増えており、先行きが懸念される。

○輸出の回復ペースは今後も鈍化

8月の輸出は、供給制約による自動車輸出の減少で大きく下押しされた。自動車メーカーの計画では、9、10月も部品不足による減産が続くとされており、目先自動車輸出の下振れは続くだろう。海外での設備投資需要の高まりを受けて、資本財や情報関連財輸出が好調を維持することから、輸出の増加基調自体は崩れないとみられるが、自動車による下押しにより輸出の回復ペースは鈍化する可能性が高い。輸入については、エネルギー関連について、既往の原油高を反映して来月以降も高水準での推移が見込まれる。しばらくは、輸入の伸びが輸出を上回ることにより、貿易収支は赤字が続く可能性が高い。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。